

SCCJ (日本化粧品技術者会) とは?

SCCJ(The Society of Cosmetic Chemists of Japan)の活動目的は、「化粧品及び関連の科学技術の進歩向上に貢献すると共に、会員相互の交流と啓発を図るための事業を行い、内外の化粧品発展に寄与する」ことです。会員は現在約1,600名。年に2回の研究討論会やセミナー、研究会、見学会をはじめ、東京と大阪の各支部独自の活動も盛んです。学会誌も年間4回発行され、2年に1度掲載された論文の中から優秀論文が表彰されます。また、世界各国の化粧品技術者で結成される国際化粧品技術者連盟(IFSCC)にも加盟しています。

活動報告!

「第71回SCCJ研究討論会」および「IFSCC2012ヨハネスブルグ大会・国内報告会」

○2012年11月28日(水)「第71回SCCJ研究討論会」および「懇談会」

○2012年11月29日(木)「IFSCC2012ヨハネスブルグ大会・国内報告会」

場所:きゅりあん(品川区)

「第71回SCCJ研究討論会」では23報の研究発表となり参加者403名、「IFSCC2012・国内報告会」ではオーラル20報、ポスター12報、参加者347名となりました。



第71回SCCJ研究討論会の模様



IFSCC2012・国内報告会
ポスター発表の模様

第151回「技術見学会」:東京支部発

○2012年11月13日(火):参加者68名

○「財日本食品分析センター」と「東京工科大学応用生物学部」を訪問

財団法人日本食品分析センターの事業内容や品質保証の取り組み、放射能分析についてお話を頂き、センター内の試験施設を見学しました。充実した機器と多くのスタッフで試験が行われていることがわかりました。東京工科大学では、電子顕微鏡室、柴田研究室(化粧品材料化学研究)、正木研究室(光老化研究)を見学して、実社会で役立つ教育をしていることが良くわかりました。



日本食品分析センターにて



東京工科大学にて

2012年度 秋季研修会 :大阪支部発

○2012年10月26日(金) ~ 2012年10月27日(土)

:参加者98名

多様化するごみ質に十分対応できるゴミ処理施設として建設された茨木市環境衛生センターを視察しました。

その後、積水ハウスを見学、そこでは自分にふさわしい住まいを、立体的にイメージして組み立てていくことのできる「納得工房」を見学しました。

さらにCLUB HARIEを有するたねやグループの「近江八幡日牟禮ヴィレッジたねや」を見学、最後にエキシブ琵琶湖で懇親会を行い充実した研修会となりました。



茨木市環境衛生センターにて



近江八幡日牟禮ヴィレッジにて

若手研究者へのアプローチ

<コスメ倶楽部:東京支部サポート>

コスメ倶楽部は、化粧品関連各社の若手技術者(35歳未満)からなる研究会で、1999年12月、東京化粧品技術者会(当時)学術部会Bの下部組織として発足しました。

年3回の定例勉強会と各種交流会を通じて、個々の「研鑽」と会員相互の「交流」を進めています。



定例勉強会の模様

<勉強会:大阪支部サポート>

この勉強会は、化粧品関連各社の若手技術者のスキルアップを目指して年2回開催されている勉強会です。

毎回話題となるテーマで講師をお招きし、勉強とワークショップ・パネルディスカッション、会員相互の交流・情報交換を目的とした情報交流会を行っています。毎回70~90名の若手主体の研究員や企画・営業の方々が参加されます。



ワークショップの模様

11thASCS(アジア化粧品技術者会)
See You in ASCS 2013 Bali,
Indonesia



2013年4月23日～25日、インドネシアのバリ島で開催されました。参加者数は日本、インドネシア、韓国、台湾を中心に274名、また発表数は口頭発表73件、ポスター発表64件と盛況で、活発な討議が行われました。本大会では、東南アジアを中心とするアジア地区が植物性油脂や活性剤の生産拠点であることに加え、植物固有種の宝庫であることから、処方技術と素材研究に関する発表が多く、アジアにおける化粧品技術の発展や活性化を強く感じる大会となりました。次回は2015年オーストラリアでの開催を予定しています。



2013年10月30日～11月1日、ブラジル・リオデジャネイロにて「IFSCC 2013 Conference」が開催されます。

<参加旅行団のご案内>

○旅行期間:2013年10月28日(月)～11月5日(火)(9日間)

○募集人員:30名(最小催行人員20名)

○申込締切日:2013年8月16日(金)

※上記詳細は、日本化粧品技術者会HP内「IFSCC 2013 Conference リオデジャネイロ大会参加旅行団のご案内」をご参照ください。



会員の種類 (抜粋)

各会員の条件やその他の会員区分につきましてはHPをご確認下さい。

項目	正会員	準会員(※1)	非会員
年会費	20,000円	12,000円	
SCCJジャーナル閲覧	○	○	
IFSCCジャーナル閲覧	○	○	
ジャーナルのダウンロード	○	○	
メール配信	○	○	(※2)
研究討論会、セミナー等参加費	会員料金	会員料金	一般料金

(※1) 準会員は満35歳未満の方が対象です。

(※2) HPからメール配信登録していただく必要があります。

入会・問い合わせは下記の学会HP
または事務局まで

<http://www.sccj-ifsc.com>

日本化粧品技術者会 事務局 ☒info@sccj-ifsc.com
TEL:045-590-6025 FAX:045-590-6093

メール配信登録
はこちらから



第6回化粧品産業技術展
CITE Japan 2013
The Worldwide New Trend

2013年5月15日～17日、SCCJ が共催しているCITE Japan 2013がパシフィコ横浜で開催されました。本展は化粧品原材料および容器、OEMメーカーが一同に会して、隔年で開催されるもので、回を重ねるたびにその規模が大きくなっています。

今回も出展社数277件、技術発表件数107件、来場登録者数約14,300名と前回は大きく上回り、過去最高となりました。各ブースでは様々な趣向を凝らした展示やデモが目立ち、来場者の開発マインドに刺激を与えました。



今後の主な行事

※スケジュールは予告なく変更されることがあります。詳細はHPでご確認下さい。

○2013年6月25日(火)～27日(木):第45回化粧品技術基礎講習会(東京)

○2013年7月4日(木)～5日(金):第43回化粧品技術基礎講習会(大阪)

○2013年7月9日(火):第72回研究討論会(大阪)

○2013年9月27日(金):第42回SCCJセミナー(東京)

○2013年11月29日(金):第73回研究討論会(東京)

○2014年2月27日(木):第43回SCCJセミナー(大阪)

SCCJに集まろう!

化粧品研究の特徴のひとつは、様々な領域研究の集合体であることです。皆さんがそれぞれの技術領域で腕を磨くことと、それを統合してお客様の価値に転換すること、この両面が必要です。日本化粧品技術者会は様々な活動を通じてこの両面でのレベルを高めることができる唯一の学術団体です。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

会長 島谷庸一



日本化粧品技術者会

The Society of Cosmetic Chemists of Japan

SCCJ Press vol.4

発行元:日本化粧品技術者会 広報委員会